

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

| 項 目               |                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                    | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| <b>. 理念に基づく運営</b> |                                                                             |                                                                    |      |                                  |
| 1. 理念と共有          |                                                                             |                                                                    |      |                                  |
| 1                 | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている      | より家庭環境に近い生活を意識し、入居者一人一人の個性を大切にしたい理念を掲げている。                         |      |                                  |
| 2                 | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                         | 職員全体が見える場所に掲示し、理念を常に意識している。また、勉強会で具体的な例題をあげ、話し合いを持ち、実践に向けて取り組んでいる。 |      |                                  |
| 3                 | ○家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 見学者や入居申し込みの方には書面を配布し、説明を行った上で理解を得られるよう努めている。                       |      |                                  |
| 2. 地域との支えあい       |                                                                             |                                                                    |      |                                  |
| 4                 | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 職員は日常的に近所の公園等に入居者と散歩に出かけ、地域の方々に会った時は挨拶や会話をしよう心がけている。               |      |                                  |
| 5                 | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている   | 地域のお祭り等に参加したり、地域の方々に盆踊り等に参加していただけるよう呼びかけを行ったりしている。                 |      |                                  |

## グループホーム 倫尚園

| 項 目                   |                                                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                              | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 6                     | <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>                  | 事業所として通所型介護予防実施計画を市からの委託により実施しており、地域の方々に役立てよう努めている。          |      |                                  |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |                                                                                                              |                                                              |      |                                  |
| 7                     | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>                           | 評価結果報告を職員全員が目を通し、一人一人が日頃の介護に取り組む姿勢を振り返って、今後の介護に活かすよう話し合っている。 |      |                                  |
| 8                     | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>           | 運営推進会議では、提供しているサービスや困難事例を報告し、参加メンバーからの意見をもらっている。             |      |                                  |
| 9                     | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                            | 介護サービス相談員派遣事業や認知症に関する研修等に参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。              |      |                                  |
| 10                    | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | 成年後見制度については法人内研修や外部の研修で学ぶ機会を持っている。                           | ○    | 現在は成年後見制度を活用している方がいる。            |
| 11                    | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>            | 法人内研修や月1回の勉強会にて学び、話し合いを行った上で虐待防止の徹底を図っている。                   |      |                                  |

## グループホーム 倫尚園

| 項 目            |                                                                                                          | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                       | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 4.理念を実践するための体制 |                                                                                                          |                                                                                                                       |      |                                  |
| 12             | ○契約に関する説明と納得<br><br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                                 | 契約の前には十分な相談、説明の機会を作り、理解・納得していただけるよう努めている。                                                                             | ○    |                                  |
| 13             | ○運営に関する利用者意見の反映<br><br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 法人として月1回オンブズパーソンの派遣と介護サービス相談派遣事業の日程のポスターを掲示して外部者へ表せるようにしている。                                                          |      |                                  |
| 14             | ○家族等への報告<br><br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 定期的に広報誌を年4回発行し、ホーム内の行事や活動状況、暮らしぶりを報告している。また、面会時等にも健康状態の報告、金銭管理については出納帳を提示しサインをもらっている。長期来園のない家族には現在の状況や出納帳のコピーを郵送している。 |      |                                  |
| 15             | ○運営に関する家族等意見の反映<br><br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 面会時にその都度声をかけて話を聞き、相談に乗ったりして家族の意見を取り入れている。職員には申し送り等や勉強会にて報告し、改善に向けて話し合っている。また、苦情に関しては玄関にフローチャートを設置し、外部へ表せるようにしている。     |      |                                  |
| 16             | ○運営に関する職員意見の反映<br><br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                            | 年度当初、全職員に対し運営方針を説明している。また、運営に関し、大きな変更等がある場合は職員に対し説明し、意見を聞いている。                                                        |      |                                  |
| 17             | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br><br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている                      | 入居者の生活状況に合わせて6パターンのローテーションを組み、柔軟に対応できるようにしている。                                                                        |      |                                  |
| 18             | ○職員の異動等による影響への配慮<br><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 昨年度までは離職者が多くみられたが、今は落ち着いている。ベテラン職員、新人職員との組合わせ等により、利用者のダメージを最小限度にしている。                                                 |      |                                  |

## グループホーム 倫尚園

| 項 目         |                                                                                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                     | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 |                                                                                                                                                  |                                                                                     |      |                                  |
| 19          | <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p> | 募集採用について法人事務局で行っているが、現場の意見を聞いてもらっている。勤務表については現場スタッフと協力をしながら行っている。                   |      |                                  |
| 20          | <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>                                                                 | 法人内研修に管理者・職員共に参加し、学ぶ機会を設けている。また、勉強会にて、人権について話し合うようにしている。                            |      |                                  |
| 21          | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>                                               | 法人内で様々な研修を実施している。また、可能であれば外部の研修も受講するようにしている。外部のグループホームの方々と合同勉強会や自己学習の機会をつくるようにしている。 |      |                                  |
| 22          | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>                                     | 外部のグループホームの方々と合同勉強会を企画したり、意見交換をして質の向上に努めている。                                        |      |                                  |
| 23          | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>                                                                        | 職員の悩みや困ったことなどを聞いたり、法人内他の事業所の職員との交流(例えば、バドミントンやボーリング)などを行うようにしている。                   |      |                                  |

## グループホーム 倫尚園

| 項 目                       |                                                                                                                        | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                          | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 24                        | <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>                                  | 職員の勤務状態や成績を把握しながら良い事は褒めて、自信を持たせるようにしている。                                                 |      |                                  |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>  |                                                                                                                        |                                                                                          |      |                                  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 |                                                                                                                        |                                                                                          |      |                                  |
| 25                        | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>                       | 入居前の面接の際には、ホームに来ていただくか訪問するようにし、できるだけ詳しく話を聞けるようにしている。また、入居後にはマンツーマンにて信頼関係を築く努力をしている。      |      |                                  |
| 26                        | <p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>                            | プライバシーに配慮し、不快な気持ちにならないよう注意しながら面接時に情報収集シートに基づいて尋ね、入居後にはその都度相談を聞くようにしている。                  |      |                                  |
| 27                        | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>                                    | 他機関、居宅事業、他グループホーム等との連絡調整を図りながら、入居者・家族の要望に対応できるように努めている。                                  |      |                                  |
| 28                        | <p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならないうちに馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | 随時見学、体験して頂ける体勢をとり、その都度家族等と相談しながら安心して生活できる環境作りを心がけている。                                    |      |                                  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 |                                                                                                                        |                                                                                          |      |                                  |
| 29                        | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>                            | 「共に生活する」ことを意識し、お互いに学び、支え合う関係作りに努め、取り組んでいる。生活の知恵を入居者より教わり(野菜作り、クッキング、梅干し作り、床漬け等)共に実践している。 |      |                                  |

## グループホーム 倫尚園

| 項 目                               |                                                                                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                      | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 30                                | <p>○ 本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>         | 入居者と家族の関係を大切にしたいと考え、共に支え合える環境作りを支援している。少しずつではあるが、家族の協力も得られるようになってきている。               |      |                                  |
| 31                                | <p>○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>             | 一人一人の生活歴や家族との関係に配慮しつつ、面会・外出・外泊や行事参加の呼びかけを行い、実施することによって、より良い関係が築けるよう支援している。           |      |                                  |
| 32                                | <p>○ 馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>               | 外出支援の際には入居者と馴染み、関わりのある場所にドライブへ行ったりする機会を作っている。また、幼馴染が特養に入所されており、お互いに行き来し、交流する場を設けている。 |      |                                  |
| 33                                | <p>○ 利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>              | 食堂や座敷での座る位置や外出支援で車に乗る位置等は入居者同士の関係に十分注意した上で関わり合いができるよう仲介に入り、きっかけ作りに努めている。             |      |                                  |
| 34                                | <p>○ 関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p> | 他の施設に住み替えたり、長期入院で退居になった場合でも職員が面会や見舞いに行ったりしている。また、いつでも来園・相談できることを家族に伝え、開放している。        |      |                                  |
| <b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |                                                                                            |                                                                                      |      |                                  |
| 35                                | <p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>                   | 御家族に生活歴チャートへの記入を依頼したり、フェースシートより一人一人の思いや意向の把握に努めている。                                  |      |                                  |

## グループホーム 倫尚園

| 項 目                            |                                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                               | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 36                             | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 入居前に面接として本人や家族と面会する機会を持ち、情報収集シートを基にこれまでの状況を尋ね、把握するように努めている。また、生活歴チャートからも情報を得るようにしている。                         |      |                                  |
| 37                             | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている                                          | 一人一人の過ごし方については、勉強会で話し合い、できることは手を出さずに機能維持できるよう支援している。                                                          |      |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |                                                                                                     |                                                                                                               |      |                                  |
| 38                             | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 本人や家族の意見、意向を大切に、また身近な介護職員の意見を反映させながら「入居者本位」のサービス計画作成に取り組んでいる。                                                 |      |                                  |
| 39                             | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 生活支援記録にはケアプランのサービス内容が実施記録に反映されるように綴っている。また、状態変化がある場合、随時見直しを行うようにしている。                                         |      |                                  |
| 40                             | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                         | 月々の様子やケアの実践に関しては生活支援記録に記入して出勤前には職員全員が目を通して情報を共有し、ケアに反映できるように努めている。また、熱発者や排泄に関して問題がある方については個別にチェック表を作成し活用している。 |      |                                  |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              |                                                                                                     |                                                                                                               |      |                                  |
| 41                             | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                                   | 本人や家族の状況・要望にできるかぎり柔軟に対応できるよう心がけ、外出や受診の支援を行っている。                                                               |      |                                  |

## グループホーム 倫尚園

| 項 目                         |                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                        | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                             |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |                                                                                  |                                                                                        |      |                                                              |
| 42                          | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している               | 警察署の方に来ていただき、交通安全教室を開催したり、行事にはボランティアの方に参加していただいたりと協力をいただいている。また避難訓練には消防の方の協力を得て実施している。 |      |                                                              |
| 43                          | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている    | 近隣の商店に協力していただき、売店を開いたり、散髪では訪問理容サービスに来園していただき支援している。                                    |      |                                                              |
| 44                          | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している   | 地域包括支援センターには運営推進会議に参加していただいている。                                                        | ○    | 今後、運営推進会議で地域包括支援センターの方により多くの意見をいただき、関係を深め、サービスの質の向上に努めていきたい。 |
| 45                          | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している   | 入居時にはかかりつけ医の希望を確認し、受診又は往診してもらっている。家族同伴の受診時には詳しい情報を提供し、職員同伴の受往診後には家族に結果を報告している。         |      |                                                              |
| 46                          | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 精神科に通院している方は受診時に助言を得ており、その他の方もかかりつけ医にその都度助言や治療を受けられるような体制をとっている。                       |      |                                                              |
| 47                          | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている                | グループホームには常勤看護師はいないが、併設の特養・養護の看護師にいつでも相談・助言いただける体制は整っている。                               |      |                                                              |

## グループホーム 倫尚園

| 項 目                                                                              |                                                                                                                                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 48                                                                               | <p>○ 早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      | 入院時には病院に情報提供書を提供し、家族や病院関係者と相談して早期退院できるよう努めている。                                                    |      |                                  |
| 49                                                                               | <p>○ 重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   | 重度化に伴い、在宅医療(往診)を活用し、体制を整えている。また、かかりつけ医や家族、本人と相談して今後の方針を話し合い、支援していけるよう努めている。また、終末期の方針はなく、対応は困難である。 |      |                                  |
| 50                                                                               | <p>○ 重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | 終末期のケアは実施していないが可能な限り重度化してもグループホームで生活ができるよう支援している。                                                 |      |                                  |
| 51                                                                               | <p>○ 住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>                      | 退院前には家族や病院と話し合いを重ね十分検討した上で本人の住み替えによるダメージや負担を少なくできるよう努めている。                                        |      |                                  |
| <p><b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> |                                                                                                                                           |                                                                                                   |      |                                  |
| 52                                                                               | <p>○ プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>                                                            | プライバシーに関しては理念にも掲げており、言葉掛けや対応には十分注意しながら支援している。                                                     | ○    | 職員自身がケアを振り返り、勉強会でも検討する機会を持ちたい。   |

## グループホーム 倫尚園

| 項 目                           |                                                                                        | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                          | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)           |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------|
| 53                            | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 日常生活の中で、会話中に自己決定できるような働きかけを行い、また一人一人の能力に応じた支援を行っている。                                     |      |                                            |
| 54                            | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している       | 一人一人の能力やペースを大切にするのを心がけ、できる限り希望に沿って支援を行っている。                                              | ○    | 家族にも協力していただき、外食や行事を多く持つ機会を増やしていきたい。        |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |                                                                                        |                                                                                          |      |                                            |
| 55                            | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                  | その人らしいおしゃれができるよう、できる限り衣類を選んでいただく支援を行っている。また、重度化した方には、その方に合った衣類を選んでいる。散髪に関しては本人の希望に応じている。 | ○    | 散髪に関しては希望の店があれば、今後支援をすすめていきたい。             |
| 56                            | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている           | 調理、盛りつけ、片付け等については入居者と職員が一緒に行っている。また、畑でとれた野菜でおやつ作りを楽しんだりしている。                             |      |                                            |
| 57                            | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している                  | おやつに関しては2週間に1回ある売店で好みの物を選び食べれるように支援している。また、お茶を好んで飲まれず、水分摂取がうまくいかない方には常時コーヒー等をそろえている。     |      |                                            |
| 58                            | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している              | 排尿チェック表を作成し、排泄パターンの把握に努めている。また、本人のしぐさ等からもくみ取り、気持ちよくトイレに行きできるよう支援している。                    | ○    | 一人一人の可能な能力を活かし、紙パンツの使用から布パンツへの移行にも取り組んでいる。 |

## グループホーム 倫尚園

| 項 目                           |                                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                        | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)              |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------|
| 59                            | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>    | <p>重度化に伴い、自己決定できる方が少なく、清潔保持を維持する為にも曜日は決めているが、入浴時間は決まっておらず、気の合う方との入浴を支援している。また、無理強いせず、希望に沿うようにしている。</p> |      |                                               |
| 60                            | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>                     | <p>日中は適度な活動をすすめ、一人一人のペースに合わせて休息(昼寝)も取り入れるようにしている。</p>                                                  |      |                                               |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |                                                                                             |                                                                                                        |      |                                               |
| 61                            | <p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>  | <p>生活歴を活用し、一人一人の趣味や特技、仕事を活かした役割の支援に努めている。</p>                                                          |      |                                               |
| 62                            | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>  | <p>売店時には本人にお金を渡し、好みの物を購入できるよう支援している。また、出納帳に記入し、個別に支援している。</p>                                          |      |                                               |
| 63                            | <p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>                    | <p>入居者の希望があればドライブや買い物、茶会に出かける支援を行っている。しかし、個別に支援している。</p>                                               |      |                                               |
| 64                            | <p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p> | <p>日帰り旅行や外食には、家族にも案内状を出し、他の入居者や家族と一緒に出かけられる機会を作っている。</p>                                               | ○    | <p>今後は年間行事として誕生月の方々の希望場所への外出支援に取り組んでいきたい。</p> |

## グループホーム 倫尚園

| 項 目             |                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                        | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                  |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------|
| 65              | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 複合施設の二階に公衆電話があり、また外線電話の取り次ぎも行っており、外部とやり取りできるようになっている。また、手紙の取り次ぎも行っている。 | ○    | 手紙の取り次ぎも行っているが、返信されることはほとんどない為、今後支援に向けて取り組んでいきたい。 |
| 66              | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | 再会に来られた方々が居心地良く過ごせるように座敷や談話コーナーを開放し、飲み物等を提供するようにしている。                  |      |                                                   |
| (4) 安心と安全を支える支援 |                                                                                         |                                                                        |      |                                                   |
| 67              | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束については法人内研修によって職員全員が意識を高めケアに取り組んでいる。                                |      |                                                   |
| 68              | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | 居室にカギはついているが、入居者が内側からカギをかける以外、カギをかけることはなく、またその他の出入口は自由に出入りが可能である。      |      |                                                   |
| 69              | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | 常時、見守りしやすい位置にいるよう職員全員心がけており、記録を書きながらでも所在の確認を行うよう配慮している。                |      |                                                   |
| 70              | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | 洗剤や刃物(包丁)はシンクの下に保管するように取り決め、使用する際は職員と一緒にしている。                          |      |                                                   |
| 71              | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | 一人一人の自己予測と予防策を作成し、状態に応じた事故防止に向けての取り組みを行っている。                           | ○    | 事故防止に関してより意識を高める為、研修や勉強会にて学ぶ機会を多く持ちたい。            |

## グループホーム 倫尚園

| 項 目                        |                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                       | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 72                         | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>                 | <p>年1回職員全員が救命救急講習を受けている。緊急時のマニュアルを作成しており、その都度対応できるようにしている。また、グループホームに看護師はいないが、併設の特養・養護の看護師にいつでも相談・助言ができる体制が整っている。</p> |      |                                  |
| 73                         | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>   | <p>複合施設として定期的に避難訓練を行っている。また、地域の方の協力を得て訓練を実施することもある。</p>                                                               |      |                                  |
| 74                         | <p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p> | <p>日常生活を送る中で、起こり得るリスクについては契約時や面会時、電話にて説明し同意を得ている。</p>                                                                 |      |                                  |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |                                                                                         |                                                                                                                       |      |                                  |
| 75                         | <p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>           | <p>毎日バイタルチェックを行い、一人一人の体調変化や異変の早期発見に努め、気づいた事は申し送り簿に記入し、全職員で情報共有できるようにしている。</p>                                         |      |                                  |
| 76                         | <p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>       | <p>一人一人の処方箋を薬のケースに入れており、いつでも確認・理解できるようにしている。また、薬変更があった時等は申し送り簿に記入し変化の確認に努めている。</p>                                    |      |                                  |
| 77                         | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>         | <p>便秘予防に水分摂取をすすめたり、散歩・体操運動を促している。</p>                                                                                 |      |                                  |

## グループホーム 倫尚園

| 項 目                     |                                                                                                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                      | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 78                      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                                                 | 毎食後、口腔ケアを促し、できない方については口腔清拭やうがい等一人一人に合った支援を行っている。                                     |      |                                  |
| 79                      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 一人一人の能力や状態に応じた食事形態にしており、工夫をしている。また、水分摂取がうまくいかない方については水分チェック表を作成し、水分量の目安に注意し飲水を行っている。 |      |                                  |
| 80                      | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)                                         | 法人で作成されたマニュアルがあり、感染症があった場合にはそれに沿って実行している。                                            |      |                                  |
| 81                      | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている                                        | 複合施設の為、食材の管理は厨房にて行っている。また、栄養士の指導の上、調理用具等の衛生管理に努めている。                                 |      |                                  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |                                                                                                           |                                                                                      |      |                                  |
| (1) 居心地のよい環境づくり         |                                                                                                           |                                                                                      |      |                                  |
| 82                      | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 玄関には季節の花を飾ったり、熱帯魚や亀等の生き物を飼ったりと親しみを持ってもらえるようにしている。                                    |      |                                  |
| 83                      | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 「施設」を感じさせずに暖かい家庭的な雰囲気や生活感が感じられるように心掛けている。また、季節に応じた飾り付けや行事写真の掲示もしている。                 |      |                                  |

## グループホーム 倫尚園

| 項 目                     |                                                                                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 84                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</li> </ul> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>            | <p>食堂や談話コーナー、座敷等は状況や雰囲気に応じて一人で過ごしたり、気の合う入居者同士の過ごせるような環境作りを心がけている。</p>                            |      |                                  |
| 85                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>居心地よく過ごせる居室の配慮</li> </ul> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>居室には本人が使い慣れたものや好みのもの(タンス・仏壇・イス・写真や絵等)を持ち込んでいただき、できるだけ住み慣れた環境に近づけるよう心がけ、居心地の良い空間に作りに努めている。</p> |      |                                  |
| 86                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>換気・空調の配慮</li> </ul> <p>気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>        | <p>入居者が起床し食堂にいられている間は居室の窓をあけ、換気を行っている。また、冬は1日2回窓を開けるようにしている。外気温との差には十分気をつけ、冷暖房をこまめに調整している。</p>   |      |                                  |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |                                                                                                                                              |                                                                                                  |      |                                  |
| 87                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>身体機能を活かした安全な環境づくり</li> </ul> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>                 | <p>廊下やトイレ・浴室・座敷の段差には手すりが設置されており、居室内には一人一人の状態・状況に応じてポータブルトイレやイス・テーブルの位置を調整し、安全に配慮している。</p>        |      |                                  |
| 88                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>わかる力を活かした環境づくり</li> </ul> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>                           | <p>居室のわからない方には表札を作ったり、トイレには大きくわかりやすい字で「便所」と表示し、混乱を防ぐ工夫をしている。</p>                                 |      |                                  |
| 89                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>建物の外周りや空間の活用</li> </ul> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>                                   | <p>庭が広く、歩道や東屋も整備されているので日光浴や散歩をしたり、バーベキュー等の行事も行っている。</p>                                          |      |                                  |

| . サービスの成果に関する項目 |                                                  |                       |             |
|-----------------|--------------------------------------------------|-----------------------|-------------|
| 項 目             |                                                  | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |             |
| 90              | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      |                       | ほぼ全ての利用者の   |
|                 |                                                  | ○                     | 利用者の2/3くらいの |
|                 |                                                  |                       | 利用者の1/3くらいの |
|                 |                                                  |                       | ほとんど掴んでいない  |
| 91              | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ○                     | 毎日ある        |
|                 |                                                  |                       | 数日に1回程度ある   |
|                 |                                                  |                       | たまにある       |
|                 |                                                  |                       | ほとんどない      |
| 92              | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○                     | ほぼ全ての利用者が   |
|                 |                                                  |                       | 利用者の2/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | 利用者の1/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | ほとんどいない     |
| 93              | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ○                     | ほぼ全ての利用者が   |
|                 |                                                  |                       | 利用者の2/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | 利用者の1/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | ほとんどいない     |
| 94              | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           |                       | ほぼ全ての利用者が   |
|                 |                                                  |                       | 利用者の2/3くらいが |
|                 |                                                  | ○                     | 利用者の1/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | ほとんどいない     |
| 95              | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ○                     | ほぼ全ての利用者が   |
|                 |                                                  |                       | 利用者の2/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | 利用者の1/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | ほとんどいない     |
| 96              | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ○                     | ほぼ全ての利用者が   |
|                 |                                                  |                       | 利用者の2/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | 利用者の1/3くらいが |
|                 |                                                  |                       | ほとんどいない     |
| 97              | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています |                       | ほぼ全ての家族と    |
|                 |                                                  | ○                     | 家族の2/3くらいと  |
|                 |                                                  |                       | 家族の1/3くらいと  |
|                 |                                                  |                       | ほとんどできていない  |

## グループホーム 倫尚園

| 項 目 |                                                         | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |             |
|-----|---------------------------------------------------------|-----------------------|-------------|
| 98  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                        |                       | ほぼ毎日のように    |
|     |                                                         | ○                     | 数日に1回程度     |
|     |                                                         |                       | たまに         |
|     |                                                         |                       | ほとんどない      |
| 99  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている |                       | 大いに増えている    |
|     |                                                         | ○                     | 少しずつ増えている   |
|     |                                                         |                       | あまり増えていない   |
|     |                                                         |                       | 全くいない       |
| 100 | 職員は、生き生きと働いている                                          |                       | ほぼ全ての職員が    |
|     |                                                         | ○                     | 職員の2/3くらいが  |
|     |                                                         |                       | 職員の1/3くらいが  |
|     |                                                         |                       | ほとんどいない     |
| 101 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           |                       | ほぼ全ての利用者が   |
|     |                                                         | ○                     | 利用者の2/3くらいが |
|     |                                                         |                       | 利用者の1/3くらいが |
|     |                                                         |                       | ほとんどいない     |
| 102 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       |                       | ほぼ全ての家族等が   |
|     |                                                         |                       | 家族等の2/3くらいが |
|     |                                                         | ○                     | 家族等の1/3くらいが |
|     |                                                         |                       | ほとんどできていない  |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・徐々に重度化してきていることで、一人一人の状態・状況に合わせた個別の支援に取り組んでいる。(排泄・不穏・食事等)
- ・入居者の状態・状況に合わせて、6パターンの勤務のローテーションを組み、その都度対応できるよう支援している。
- ・複合施設の特徴を活かして、多彩な行事や他セクションとの交流、生活歴を活かした野菜作りに取り組んでいる。